

参加者 募集

主催：東都生活協同組合

「そうだったのか！TPP」学習会

今通常国会で、関連法案とともに TPP（環太平洋経済連携協定）の承認・批准の審議が行われています。

ニュースや新聞報道などで見ても、内容が良く分かりません。関税がなくなり、農産物などが安く輸入され、少しは私たちのくらしが楽になるかのように報道されています。しかし、遺伝子組換え食品や輸入品の安全性はどうなるのでしょうか？

また、関税が引き下げられて輸入が増大した時、その国の農業は？ NAFTA（北米自由貿易協定）から 20 年経過したメキシコの現在を見て、TPP 協定が実施された日本の 20 年後を考えてみましょう。

多くの方の参加をお待ちしています。

日 時：5 月 20 日（金）午後 2 時～4 時

会 場：なかの ZERO 西館 2 階 学習室 1

（中野区中野 2-9-7）中野駅南口から徒歩 8 分

内 容

1. DVD 上映と解説：上垣喜寛氏（「自由貿易に抗う人々」制作委員会代表）『自由貿易に抗う人々—NAFTA から 20 年—』ダイジェスト版
1994 年、米国、カナダ、メキシコの 3 カ国で発行された北米自由貿易協定（NAFTA）は、関税を引き下げ、貿易と生産の活性化を目指した協定だった。その後、20 年経過したメキシコの現在はどうなっているのかを映像化しました。
2. TPP テキスト分析報告：山浦康明氏（TPP に反対する人々の運動、明治大学）
今年 2 月に 12 カ国での署名が行われた TPP 協定は、本文と付属書だけでも 5,000 頁を越え、すべてが日本語に翻訳されているわけではありません。市民団体の有志が、「TPP テキスト分析チーム」を結成して行いました。TPP は農業だけでなく、投資やサービス貿易などたいへん多岐にわたる分野です。今回は、「食の安全・安心」を担当した山浦氏にいくつかの分野の問題点を解説して頂きます。

定 員：100 人（どなたでも参加できます。参加費無料）

保 育：1 歳以上（無料）

※申込時にお子さんの名前、年齢、性別、アレルギーの有無をお伝えください。
保育の申込締切日 5 月 13 日（金）、ただし、定員（7 人）になり次第締め切ります。

申し込み：参加および保育は、組織運営部まで電話（03-5374-4756）か E メール(kumikatsu@tohto.coop)でお申し込みください。

